

# 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑤

## 8月検針分（主に6・7月使用分）

### 用途別の影響

令和 2 年 8 月の検針データを前年と比較すると、下表にまとめたとおりとなります。

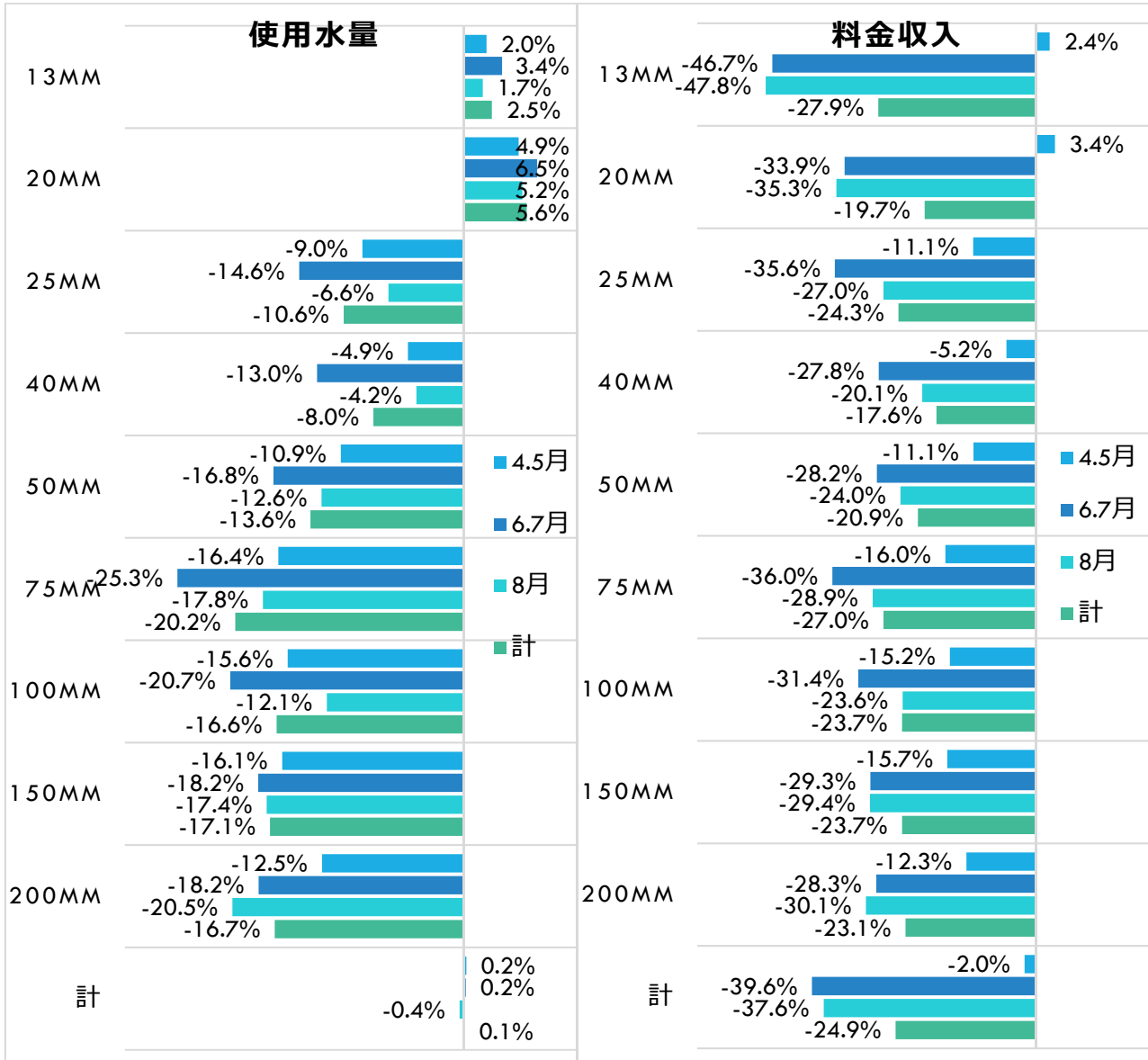
水量は、4月以来、主に家事用に用いられる口径 13mm と 20mm のメーターでは増え、主に業務用となる口径 25mm 以上のメーターでは減少しています。また 8 月は、長梅雨の影響から家庭での利用増が減少し、全体では、再び約 6,000 m<sup>3</sup>の減少に転じました。

料金は、6 月検針分から基本料金の全額と従量料金の 10%の減額が始まっていることから大きく減少しています。同じ対象者となる 6 月検針分と比較すると、使用水量の減少は 9,000 m<sup>3</sup>少ない 6,000 m<sup>3</sup>、料金の減少額は、300 万円下回る 7,900 万円となりました。緊急事態宣言の真只中であつた 6 月検針分より改善傾向が見られます。

検針年	区分	20mm 以下	25mm 以上	合計
R1 (2019)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,356,309	342,121	1,698,430
	金額 (税抜き : 円)	131,081,695	77,993,405	209,075,100
	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	96.65	227.97	123.10
R2 (2020)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,389,061	303,228	1,692,289
	金額 (税抜き : 円)	71,818,669	58,715,531	130,534,200
	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	51.70	193.63	77.13
増減	水量 (m <sup>3</sup> )	32,752	△ 38,893	△ 6,141
	増減率	2.41%	△11.37%	△0.36%
	金額 (税抜き : 円)	△ 59,263,026	△ 19,277,874	△ 78,540,900
	増減率	△45.21%	△24.72%	△37.57%
	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	△ 44.94	△ 34.34	△ 45.96
	増減率	△46.50%	△15.06%	△37.34%

## 口径別の変動率

口径別の変化を見ると、下のグラフに表すとおり 25mm 以上のすべての口径で使用水量が減少しています。また、減額措置の影響により、料金収入はすべての口径で減少しています。8月の合計では、使用水量は0.4%、料金収入は37.6%減少しました。



## 結論

使用水量合計の変動率は、令和元年度における月ごとの対前年度の変動の範囲（△4.2%～2.5%）内なりましたが、6月と比較すると、25mm以上では、62,000 m<sup>3</sup>減から 39,000 m<sup>3</sup>減と縮小していますが、20mm以下の増加も 47,000 m<sup>3</sup>増から 33,000 m<sup>3</sup>増へと縮小しました。徐々に経済活動も活発になってきていることが伺えますが、今後も動向を注視する必要があります。